

## はじめに

近年、人口減少、超高齢社会という大きな課題に対し、各地域の特徴を活かした自律的・継続的視点の施策が求められております。

このような中で、当地域では平成17年度より、管内及び管轄市町村の健康課題の解決に向け保健医療福祉関係者が地域診断をできるよう支援することを目的とし、「県北地域診断シート」を作成してきました。

地域の保健医療福祉に関する主要データを図表化し、現状の把握と情報の共有ができるものとなっております。

県民の皆さまにとってより良い地域づくりを共同で行えるよう、活用して頂ければ幸いです。

### ～県北地域の概要～

県都福島市を擁する県北地域は、福島県の北部に位置している。

県北地域は福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡（国見町、桑折町、川俣町の3町）、安達郡（大玉村の1村）の4市3町1村からなる。

平成30年4月より、福島市は中核市へ移行したため、中核市が権限を持つ法廷事務等は福島市所管となった。



平成20年7月1日に福島市、飯野町が合併し、福島市となる。  
平成30年4月1日には中核市へ移行。

平成19年1月1日に本宮町、白沢村が合併し、本宮市となる。



平成18年1月1日に伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月舘町が合併し、伊達市となる。

平成17年12月1日に二本松市、安達町、岩代町、東和町が合併し、二本松市となる。